

2023 ~ 2024 年度国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

- 会長 中島 祐爾
- 幹事 緒方 公一



世界に希望を生み出そう

No.1860 令和 06 年 05 月 08 日 第 37 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~
 ※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内
 ※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053
 ※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



■ 点鐘

■ 国歌斉唱「君が代」

■ ロータリーソング「四つのテスト」 (ソングリーダー 西田智史)

■ 熊本東南ロータリークラブソング「未来」

■ 来訪者紹介 (会長 中島祐爾)

米山奨学生
 巖瑋辰 (イェン・ウェイチェン) 君

■ 4月・5月米山奨学金の授与

巖瑋辰 君

■ 5月誕生祝い (会長 中島祐爾)

お誕生日
 おめでとうございます

5月誕生祝

【会員】
 宮川 義行 会員 5月10日
 川崎 直樹 会員 5月22日
 渡邊俊一郎 会員 5月10日

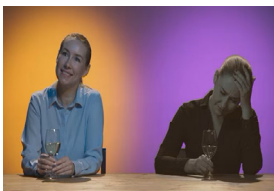
【配偶者】
 小畑 賢美 様 5月3日
 武末 実来 様 5月13日
 前田 良子 様 5月28日
 白木 喜世 様 5月29日
 古田 三恵 様 5月29日



■ 会長の時間 (会長 中島祐爾)

お酒と健康・飲酒のリスク

赤くなる人はがんになりやすい？
 お酒に強い・弱いを決める遺伝子タイプ



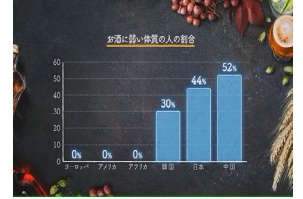
お酒に強い・弱いを決めるアセトアルデヒド
 分解遺伝子



アセトアルデヒド分解遺伝子がアセトアルデヒドをやっつける。



顔が赤くなる酒飲みの人は要注意！体質で健康リスクが全然違う！



お酒は飲み続ければ強くなる？



■ 幹事報告 (幹事 緒方公一)

■ 来信案内

1)
 (公財) 熊本県ロータリー奨学会より、寄付に対するお礼状。
 (創立 40 周年記念、30 万円)

■ クラブより

1)
 第 3 回 臨時理事会 報告

■ 今後の地区行事

2024	5月17日(金) ~ 18日(土)	地区大会	大分県日田市	パトリア日田・日田温泉小京都の宿 みくまホテル
		福井学、古田哲朗、生駒ちあき、草村安宏、片岡貞志、松本繁、前田日出夫、村瀬直久、松岡泰光、松田和成、中島祐爾、小畑成司、緒方公一、杉本整哉、内田信行、山田公也、彌富照皇		
	6月8日(土)	会長ノミニー研修セミナー	熊本県熊本市	熊本城ホール、ホテル日航熊本
		村瀬直久		

■ ロータリーの友紹介 (雑誌・会報担当 松尾 浩)

特今月は青少年奉仕月間



「青少年の育成を支援するということ」

横書き

P5 会長メッセージ

P7 ~ RYLA の説明 2820・2660 地区のプログラム・青少年との距離ハラスメント防止

P14 ~ パキスタンについての説明

P26 ~ 2720 地区の記事

P36 ~ 熊本江南 RC の記事

縦書き

P9 ~ 「サバ缶宇宙へ行く」

■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当委員 潮谷愛一)

「夢なき者は理想なし、理想なき者は信念なし、信念なき者は計画なし、計画なき者は実行なし、実行なき者は成果なし、成果なき者は幸福なし、ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず」

(渋沢栄一「夢七訓」)



■委員会報告

(国際奉仕担当 小畑成司)

ドバイの話

40周年記念事業報告



■出席報告

(出席・プログラム担当 生駒あき)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
04月17日	43 (免4) 39	29	4	33	84.62
04月24日	43 (免4) 39	31	2	33	84.62
05月08日	43 (免3) 40	29 Zoom4			72.50

☆出席免除

04月17日、24日

住江正治 島村徹男 志賀重人 永野昭一

05月08日

住江正治 島村徹男 永野昭一



☆欠席者

04月17日 (6名)

井村宣敏 川崎直樹 小竹 誠 小野川善久 山本浩之 山坂哲生

04月24日 (6名)

出先教明 川崎直樹 宮園龍乃 小野川善久 山本浩之 山坂哲生



■スマイル

(親睦・スマイル担当

小竹 誠)



◎渡邊俊一郎 10,000円

不注意により胸椎、腰椎を5本骨折してしまい40周年に参加できず申し訳ありませんでした。45周年は頑張ります。



◎宮川義行 5,000円

本日から、米山奨学生 嚴瑋辰(イエン・ウェイチェン)君を東南ロータリークラブに迎えることになりました。日本文学が好きな優秀な学生です。熊本県立大学で学んでいます。1年間、皆さんよろしくお祈りします。



◎草村安宏 3,000円

先日5日は瑞恵さんのゴルフコンペに参加して優勝させていただきました。その週は1週間で3回練習に行き、努力は裏切らないということを証明しました。杉本会員、まだまだ努力が足りないと思います。

■米山奨学生カウンセラー委嘱状の授与

宮川義行会員・生駒あき会員・西田智史会員



■卓話 米山奨学生紹介

嚴瑋辰(イエン・ウェイチェン)君

国籍 中国

熊本県立大学 修士課程 文学研究科

研究テーマ 芥川龍之介の「上海游記」

奨学期間 2024年4月1日~2025年3月31日



■点鐘

編集 松尾 浩

アジア太平洋地域ローターアクト大会に参加しよう

投稿日:4月23,2024 投稿者:rotarymasa

By Divagararan S/O Kalaivanan

(シンガポール、Raffles City ローターアクトクラブ会員、アジア太平洋地域ローターアクト大会実行委員長)

私はローターアクターとして、地域社会に前向きな変化をもたらすことに力を注いでいます。そんな私にとって、シンガポールでのロータリー国際大会の終了後、6月1~4日に開催されるアジア太平洋地域ローターアクト大会(APRRC)は、地平線に輝く光となるでしょう。今年で20回目を迎えるこの大会はシンガポールが舞台となり、期待に胸が膨らみ、今から熱意を抑えきれません。

第一に、この大会は、アジア太平洋地域全体から頭脳、アイデア、経験が集まる場です。多様性のつぼのようなこの大会で、ローターアクターは、奉仕、リーダーシップ、国際理解への情熱を分かちあいます。「世界に変化をもたらそう」という共通のビジョンをもつ人びととの交流は大きな刺激となります。長年のローターアクト会員も、これから奉仕の世界に飛び込もうとする新会員も、この大会に参加することで成長し、学び、協力しあうことができます。



今回の大会で、とりわけ私をワクワクさせてくれるのは、イノベーションと適応力に焦点を当てていることです。急速に変化する世界において、ローターアクターは常に時代の先端を走り、地域社会の課題に取り組む新しいアイデアやアプローチを取り入れなければなりません。参加者は、魅力的なワークショップ、示唆に富んだ討論、実践的な活動を通じて、現実の問題に対する革新的な解決策を探ることができます。社会貢献のためのテクノロジーの活用から、持続可能な開発プロジェクトの実施まで、この会合は、常に進化し続ける状況の中で、前向きな変化をもたらすための力を与えてくれます。

また、この大会は、人間的、職業的な成長を促す機会ともなります。ローターアクターとして私たちは、個人としてもグループとしても、継続的な成長を目指しています。大会では、ネットワークを広げ、専門家やローターアクター仲間から貴重な見識を得る機会があります。プロジェクトマネジメントの能力を磨いたり、人前で話す能力を高めたり、効果的なチーム構築方法を学んだり、自信を持って積極的に活動するためのツールや知識を得ることができます。

さらに、この大会は友情、仲間意識、文化交流の祭典でもあります。さまざまな文化と伝統が融合しているシンガポールは、異文化理解を育み、生涯のつながりを築くのに最適な場所です。賑やかなチャイナタウンを散策したり、リトルインディアのおいしい料理を味わったりと、シンガポールの豊かな文化に浸りながら、国境や境界を越えた絆を築くことができるでしょう。

ローターアクターの皆さんへ。この機会を受け入れて、ぜひご参加ください。APRRC は、夢が羽ばたき、奉仕の未来が始まる場所です。シンガポールで一緒に歴史を作りましょう！

ロータリーボイスより

スポーツを通じたインクルーシブな社会づくり

投稿日：5月7日 投稿者：Rotary Japan

寄稿者：小松 洋

(2022-23年度ロータリー財団グローバル補助金奨学生)

今日、障害を持つ人びとの参加を重視するスポーツイニシアチブへの関心が高まっています。国連の持続可能な開発目標（SDGs）

は、持続可能で回復力のある社会を構築する上で、インクルーシブかつ公平な教育の質が重要であるとしています。

世界銀行によると、世界の人口の約15%が何らかの障害を持っており、発展途上国ではその割合がさらに高くなっています。国連はまた、障害者の3分の1が差別を経験していると報告しています。ジンバブエでは、人口の約7%、約90万人が障害を持っていると報告されています。2000年以降、世界的に「スポーツを通じた平和と開発」の理念が広まり、ジンバブエでもスポーツが人びとをつなぎ、インクルーシブな環境を創出する手段として実践されています。

インクルーシブ教育の実践



バレーボールを楽しむ生徒

私は若い頃からプロサッカー選手を目指し、高校時代には長野県代表として国体に出場するなど、自分の夢に向かって努力を重ねてきました。しかし、チームメイトとの価値観やモチベーションの違いに直面し、落胆することもしばしばありました。この経験から、人びとのやる気を引き出す方法を学び、スポーツを通じてより良い社会を築くための道を探求することにしました。

2011年から2013年まで、ジンバブエのダニコ中高一貫校でJICA海外協力隊の体育教員として勤務しました。ここでは、障害のある生徒とない生徒、合計320人が一緒に学ぶインクルーシブな教育を実践し、スポーツを通じて互いを理解し支え合う環境を作りました。

左き腹に杖を挟んで卓球に参加している



例えば、卓球で手足が部分欠損している生徒も利用できるラケットやサポートのための松葉杖など、障害を持つ生徒が同じテーブルで参加できるように工夫しました。サッカーでは、聴覚障害のある生徒がゲームに参加できるようホイッスルと旗を用い、視覚的なサインでコミュニケーションをとりました。また、バレーボールではネットの高さを下げ、風船を使用することで部分的に麻痺のある生徒や車椅子の生徒も参加でき、一方で健常者には椅子に座ってもらうことで制限を加えました。

エジンバラ大学院での学び

私のこうした経験は、ロータリー奨学生としてのエジンバラ大学での修士課程でさらに深まりました。ここではスポーツの社会的影響と管理戦略を研究しました。修士論文では、ダニコ中学校でスポーツを通じたインクルーシブ教育に参加した生徒の障害に対する見方や態度にどのような影響があったか、それが大人になってからの生活にどのように役に立っているかについて、卒業生8人と教員4人を対象にインタビュー調査しました。

インタビューでは、障害のある参加者からは、「スポーツのルールを教えたことにより、自分もほかの人を助けられると感じた」、「(健常者と一緒にスポーツすることで)自分の障害を前よりも感じなくなった」といった回答がありました。一方、障害のない参加者からは、「身体的な能力にかかわらず誰でも同じ考えや見解をもつ人であると感じた」、「(足でなく両手を使って走る人を見て)自分にできないことはないと感じた」、「手話を覚えた」などの回答がありました。



同期のスコットランドのロータリー奨学生たち

この研究で、スポーツを通じたインクルーシブ教育によって障害を持つ人びとの自尊心、障害に関する価値観、所属感が向上することが一層明らかになりました。また、障害者に対するステレオタイプ(偏見や差別的な見方)が変わり、共感と受け入れが進んだことにより、社会への積極的な参加が促され、障害の有無に関わらず、すべての人の相互理解と共感が深まりました。

未来への展望と現在の活動

私は現在、NPO 法人 ADRA Japan に所属し、ヨルダンで家族と共に生活しながら、ジンバブエとエチオピアで教育支援と平和構築のプロジェクトに従事しています。これらの地での経験は、スポーツがもたらすポジティブな変化を広めるための基盤となり、人びとの尊厳を守るための支援につながっています。また、スポーツ分科会の機関誌「スポーツと開発」Vol.3 への寄稿を通じ、これまでの学びと経験を広く共有しました。

ロータリー奨学金を通じて、スポーツの政策・管理・国際開発を学び、実際のプロジェクトに適用する理論と実践的な知識を深めることができました。スポーツを通じてよりインクルーシブで平和な世界を実現するという私の目標は、世界の理解と親善、平和を促進するというロータリーの目標と重なっています。ロータリー奨学金は、私のキャリアと個人的な成長、学び、将来のプロジェクトにとって非常に価値あるものでした。

この素晴らしい旅は、ロータリーの皆さまのご支援なしには可能ではありませんでした。今後も、得た知識と経験を生かし、実効的な

解決策を提案し続け、スポーツを通じてより公平でインクルーシブな社会の構築に貢献していきたいと思っています。



【寄稿者プロフィール】

小松洋 (こまつひろし)

1987 年生まれ、長野県安曇野市出身。2010 年に大学を卒業後、日本、インド、ネパール、ジンバブエで教育開発と平和構築の分野、特にスポーツを通じたプロジェクトに 10 年以上携わる。専門はインクルーシブ・スポーツ教育、チームビルディングの促進、ネグレクトされた子どもたちのケアなど。

学問的な見地から自身の経験を深めるため、2022 年から 2023 年にかけてロータリー財団グローバル補助金奨学生(松本ロータリークラブ提唱)としてスコットランドのエジンバラ大学で学ぶ。現在は NPO 法人 ADRA Japan に所属し、ジンバブエとエチオピアでの開発と緊急支援事業を担当。家族と共にヨルダンで生活しており、2 歳の子どもがいる。

ロータリーボイスより

<https://rotaryblogja.org/>

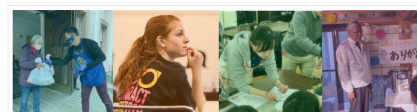
ロータリーボイス

世界で行動する人びとの体験談とストーリー

検索



ロータリーのブログへようこそ



国際ロータリーの日本語公式ブログ「ロータリーボイス」ようこそ！このブログには、ロータリー会員、ロータリープログラムの参加者、ロータリーの活動にボランティアで参加した方々などのストーリーが掲載されます。

フォロー

フォローしよう
新しい投稿を知らせる通知をメールで受信できます。メールアドレスをご入力ください

メールアドレス

フォロー

139人の購読者に加わりましょう

アーカイブ